



ご存じですか？ 『リソースナース』

ある特定の看護分野において必要な教育課程や研修をとおして、熟練した看護技術と知識を修得し、看護協会、機構、団体などの組織が認定する資格（専門看護師、診療看護師、認定看護師）をもった看護師です。院内外において専門分野の知識・技術を活用し、医療従事者への啓発活動を行い、患者さんに直接ケアを提供することを通して、看護ケアの質保証に貢献することを役割としています。

活動を広げるために

三重病院では、看護管理者・専門看護師・認定看護師・特定行為看護師が集まり、2か月に1回程度、リソースナース会を開催し、情報共有やお互いの活動理解、スキル向上に向けた意見交換、連携強化を図っています。各分野の認知度の向上や活動の土台づくり、後輩

リソースナース会

2024年度の活動と これからの活動について

育成に繋げる活動にも積極的に取り組んでいます。2024年度は、ニューズレターや院内に向けたポスター掲示での活動配信、分野ごとに健康フェスタ等の病院イベントへの

参加と活動を行ってきました。2025年度は、より多くのリソースナースが集まり、院内に留まらず地域での活動を広げたいと考えています！Instagramでの情報発信にもご期待ください。

（R6年度 リソースナース会 会長 渡邊 美佳）



三重県医療的ケア児・者コーディネーター養成研修

今年度も三重県からの委託事業として三重病院で医療的ケア児・者コーディネーター養成研修を行いました。7月21日、7月28日、8月1日の3日間で講義、8月30日、8月31日の2日間で演習を予定していましたが、台風の影響で演習2日間で延期され、この度1月24日、1月25日に無事実施できました。

講義から期間が空いてしまったことで、コーディネーターの役割って何だっけ？そもそもこういう思いで研修



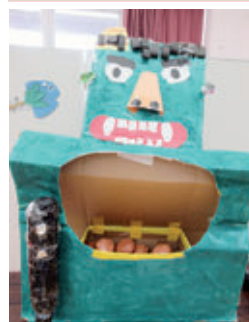
を受けに来たんだという決意を思い出すところから始まりましたが、いざ始めるとみなさん日頃の経験から様々な専門的な意見が飛び交い、多職種で一人の利用者

の方を考える、横のつながりの重要性を感じることができました。

今年度は34人の方に終了証が授与されることになり、三重県内のコーディネーターは総勢219人となりました。（一部研修風景抜粋）



5病棟の生活のひとコマ 97



今年の冬は一段と寒さが厳しくなりましたね。3月になりようやく少し暖かくなってきましたが、まだまだ寒い日は続きそうです。暖かくして風邪など引かないように気をつけたいですね。

さて、先月5病棟では毎年恒例となっている「節分の豆まき」を

行いました。「鬼は外～！福は内～！」と鬼に向かって豆をまく患者さんの姿は真剣そのもの！無事に豆まきが終わり、みなさん安堵の表情を浮かべていました。その後、鬼の金棒と恵方巻を持って記念撮影。豆まきの時とは全く違い、キラキラの笑顔をカメラに向けてくれました。今後も5病棟では、季節を味わう療育活動をたくさん行う予定ですのでお楽しみに。

（児童指導員 森 日奈子）

